



西岡 恵子 議員

### 食育の推進について

子ども達に対する食育は、心身の成長および人体に大きな影響をおよぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育てていく基礎であると考えられる。そのためには朝、昼、夕の食事摂取は当然の事であるが、朝食の欠食児童、生徒もいると聞く。その実態と指導は。また、県の産地消推進事業でモデル地域指定を本年度、受けているが、その具体的な取り組みと教育的効果についてお尋ねしたい。

### 朝食の大切さについて指導・啓発

小・中学校の朝食欠食児童・生徒の割合は、各学校で調査日も方法も異なるが二・七から十二・四％という結果

が出ています。保健だよりや学習、個人懇談等、折に触れて指導・啓発を行っている。

本年度、学校給食地産地消推進事業に取り組み、九月以降、新作物研究会の会員により生産された野菜を取り入れての給食の献立が少しずつだができるようになっています。今後もさらに、家庭と地域と学校とが連携し、給食を通して食育の推進が図れるように取り組む必要があると思っています。

### 障害者自立支援法の施行について

本年四月一日より施行のこの法律は、障害種別(身体・知的・精神の三障害)毎に異なっていたサービスの提供主体を市町村に

一元化、保護から自立に向けた支援となったが、本町の対象者について人数、また、これまでに受けていたサービスの利用において低下や経済的負担もあると聞くが、その実態と十月一日からの本格施行に向けて障害者が地域の中で共に生きていくための支援と、今後の取り組みについてお尋ねしたい。

### 自立支援給付は一部割の定率負担と所得に応じた負担

現在の支援費制度でのサービスマネジメントの人数は、身体障害者の方が五十七人。知的障害者の方が九十八人。精神障害者の方が三人。できる限りサービスの低下にならないよう努力したいが、確保できる財源や自立支援給付での利用者負担の状況等によりある程度の利用者負担、実施サービスの選定もやむを得ない状況と判断している。

相談支援事業は三障害とも事業委託を行う予定で準備を進めている

る。今後、町内の身近な所で利用できる事業所等が望まれると考えている。

### 地域包括支援センターの運営について

介護保険制度改正で本年四月一日より藍住町直営での運営となったが、各事業、円滑に実施されているのか。要支援者に対する介護予防支援として、運動等を取り入れ予防効果を上げている自治体もあると聞くが、今後の取り組みは。住み慣れた地域で安心して暮らせる支援となることを望む。

### 特定高齢者を把握し筋力向上等の事業を行う予定

地域包括支援センターでは、包括支援事業として要支援要介護となることを予防する介護予防マネジメント、総合相談支援事業等を実施することとされており、保健師、社会福祉士等、また主任ケアマネージャが連携して取り組んでいる。

### ごみの減量化について

六月議会に置いて減量化に向け前向きな答弁があった。現状と、雑紙三五％は分別で減量化に大きな成果が期待できるとのことであるが、実施に向けての取り組みは。また、燃やせないごみの増加に伴い、収集日増の検討をお願いする。

### 町民の意識改革が非常に大切

雑紙の分別化は減量化に大きな成果を上げると思われるため、平成十九年度ごみカレンダーや広報により雑紙分別の周知をしたい。廃プラスチック類は増加の傾向にある。現段階では収集職員や車輛等の問題もあり、収集日の増加は困難であるが、今後、廃プラスチック類の増加に伴い収集体制を見直す必要があると考えている。

### 公務員のあり方(飲酒運転について)

福岡県での飲酒運転による幼い子の死亡により、各

地で規定の見直しが行われているが本町の規定は。政府においても飲酒運転根絶に向けて対策を強化すると発表があった。さらなる規定の見直しが必要と考える。飲酒運転での違反に対し自己申告の有無と今後の対応についてお尋ねしたい。



飲酒運転撲滅宣誓書提出の様子(板野署)

### 処分基準の見直しを早急に行うべきだと思っている

飲酒運転での事故に対する現在の処分基準は、相手を死亡させた場合は免職、重傷を与えた場合は免職または停職などとなっている。職員が飲酒運転をした場合、現在の規定の中では報告義務はない。